



警察常任委員会で しかた松男議員が質問

しかた松男議員（城東区選出）は、10月15日に開かれた9月定例府議会警察常任委員会において、府民が安心して暮らせる「安全なまち大阪」へ警察官の増員や交番の設置、交番相談員について要望し、少年非行の現状と再非行防止に向けた大阪府警察の取り組みを質問しました。

放出西地区および城東区内へ 交番の設置を

Q. しかた議員 交番について、その果たす役割は重要で設置を積極的に進めていくべきと考える。現在、大阪府には何カ所の交番や駐在所が設置されているのか、また設置基準についても伺う。

A. 地域部長 現在、府下には603カ所の交番と46カ所の駐在所がある。具体的な設置基準はなく、その地区における犯罪や事故の発生状況、人口・世帯数・面積のほか、隣接する交番との距離などを検討し、必要性について判断している。

要望 しかた議員 私の地元である城東区の放出西地区は昭和44年に交番が廃止された。最近ではマンションが多く建ち、大型娯楽施設も出来、地域の安全に大変不安を感じ、交番の設置を求める声が幾度となく寄せられている。放出西・鯉江東・董地区への交番の設置を強く要望する。

地域警察の支え 「交番相談員」とは



Q. しかた議員 私の地元の交番には警察官のほか「交番相談員」も配置され、住民から頼りにされている。大阪府警察における「交番相談員」の現状について。

A. 警務部長 「交番相談員」は、経験や知識のある退職警察官を警察官の身分を有しない非常勤の職員として採用しており、現在、大阪府警では約450人を配置。交番業務が中心だが、子どもやお年寄りの安全見守り活動などにも従事し、地域警察の支えとなっている。

「安全なまち大阪」へ 警察官の増員を要望



大阪の治安情勢は街頭犯罪8手口のうち5手口が全国ワースト（平成24年度）という状況で、府民が求める治安水準に達していない。一人でも多くの警察官が配置されるよう国に強く働きかけを。

●街頭犯罪8手口
ひったくり、路上強盗、オートバイ盗、車上ねらい、部品ねらい、自動車盗、自転車盗、自動販売機ねらい
（平成25年からは、自動販売機ねらいを除く7手口が指定）

〈しかた 松男 しかたまつお〉
昭和37年3月5日生まれ。大阪府議会議員1期目、警察常任委員。自民党城東区第三支部長、自民党府連財務副委員長、保護司、社会福祉協議会役員、城東地車聯合会長、府立港高校後援会会長、ヘルパー2級、一般財団法人親学推進協会親学アドバイザー。
<http://www.m-shikata.jp/>
府民の安全を守るため、青パト（自主防犯パトロール車）も巡回しています。
平成24年2月20日 大阪市立放出小学校 放出地域青パト出発式で挨拶するしかた議員



少年による街頭犯罪、全国最多！ 低年齢層の再非行防止へ、取り組みを問う

Q. しかた議員 私は保護司として非行少年と接する機会も多く、子ども達の更生を願い活動しているが、指導の甲斐なく、再び非行に走ってしまう者もいる。大阪府下の少年非行の現状と特徴はどのようなものか。

A. 生活安全部長 本年8月末の府下における刑法犯少年の検挙・補導人員は、4,150人で前年に比べ604人減少したが、東京について2番目に多い。うち、ひったくりなどの街頭犯罪で検挙・補導された少年は1,137人で全国最多。刑法犯少年の約50%が中学生で、低年齢層による少年非行の割合が高い。

Q. しかた議員 中学生が非行の中心となっている現状を捉え、再非行防止に向けた大阪府警察の取り組みについて伺う。

A. 生活安全部長 府警察では、触法（※）少年に対する面接指導と立ち直り支援活動に重点をおいている。府下10カ所の少年サポートセンターで臨床心理士の職員等が非行の原因を究明しつつ、継続的な指導を行うほか、問題を抱えた中学生を対象に学校等と連携して清掃活動等の社会貢献活動、大学生ボランティアによる学習支援等に取り組んでいる。
（※触法…法に触れる行為）